

2018 明治安田生命 J2 リーグ 第 26 節 vs. 大分トリニータ

7/29 (日) 19:00 kick off @岐阜メモリアルセンター長良川競技場

2018岐大通2018岐
通2018岐大通2018
大通2018岐大通201
岐大通2018岐大通2

2018J2 順位表 第25節【暫定】

勝点、得失点差、得点、失点、
岐阜戦の戦績 (岐阜から見て)

(*は消化試合が1少ない)

1	松本	47p	+14	37	23	HO
2	町田	46p	+12	41	29	H●
3	横浜FC	43p	+7	33	26	H● A●
4	山口	42p	+4	44	40	H△
5	大分	41p	+6	40	34	A●
* 6	福岡	40p	+8	33	25	A●
7	東京V	39p	+9	35	26	A△
8	大宮	38p	+8	37	29	AO
9	山形	37p	+3	31	28	A●
10	岡山	35p	+2	24	22	A△
11	甲府	34p	+10	42	32	H● AO
12	徳島	34p	+2	26	24	H△
13	水戸	33p	+1	29	28	HO
14	岐阜	32p	+1	33	32	---
15	金沢	32p	0	33	33	H●
16	千葉	31p	-6	42	48	AO
17	新潟	29p	-6	28	34	HO
18	栃木	28p	-11	20	31	H△
19	愛媛	27p	-10	19	29	AO H●
20	讃岐	24p	-20	23	43	AO H●
21	熊本	23p	-16	31	47	AO
* 22	京都	16p	-18	19	37	A●

次回HomeGame

第28節 vs. 京都サンガ

8/11 (日) 18:00

@岐阜メモリアルセンター

長良川競技場

大酒場 ホームラン

名鉄岐阜駅前 (三菱UFJ銀行隣り)

年中無休 午後3時から営業

TEL.058-263-5201

Living in Woods

本庄工業株式会社

http://www.honjo-woodream.com/

湯麺 戸塚

店主: 戸塚 哲也

瑞穂市穂積 1596-4

11:30~14:00/18:00~21:00(L.O.20:50)

お休み情報 twitter: @Tanmen_Tozuka

☆☆☆各務原店もよろしく!! ☆☆☆

today's guest : 大分トリニータ

2017 J2 17勝13分12敗 勝ち点64: 9位

直近の対決と結果

2018/05/13

J2 - 14節@大銀ド

大分 2-1 岐阜

古橋亨梧 scored.

ここ3試合の公式戦の結果

FC岐阜	大分トリニータ
2018/07/25 J2 - 25節@長良川 岐阜 2-3 讃岐	2018/07/25 J2 - 25節@大銀ド 大分 0-1 愛媛
2018/07/21 J2 - 24節@ニッパツ 横浜FC 0-0 岐阜	2018/07/21 J2 - 24節@大銀ド 大分 0-0 栃木
2018/07/15 J2 - 23節@中銀スタ 甲府 1-3 岐阜	2018/07/15 J2 - 23節@NACK 大宮 1-0 大分

●2018 シーズン後半戦すぐのヤマ場、真夏の3連戦。その第2戦目を、前節から中3日で迎えた7/25(水)第25節・ホーム讃岐戦。試合直前の雷雨でキックオフが遅れたものの、試合序盤は岐阜が試合の主導権を握り、待望の#10 ライアン・デ・フリースのJ初ゴールで先制点を奪う。しかし、後半立て続けにCKで2失点すると、前かがりになったところでカウンターで3失点目。直後に#11 古橋亨梧が5試合振りのゴールで1点差にして同点ゴールを決めるべく攻めるが、追撃も一歩及ばず2-3で悔しい敗戦となった。この結果、FC岐阜は直近5試合を1勝4敗と大きく負け越したことで、順位は11位から14位にまで後退。プレーオフ圏内・6位までの勝ち点差も3から8に、シーズン当初の目標であった一桁順位からも勝ち点差1から5に、大きく離されてしまった。現在はまだ10位・岡山を勝ち点3の視界に入れていて一方、17位・新潟の射程内に捉えられているという、1試合の勝敗次第で、大きく順位が入れ替わる位置にいる状況だ。残念ながら、J2残留争いをしている愛媛と讃岐から勝利を掴めなかったことは、今後の順位争いに大きく影響してくる可能性が高いだろう。しかし、終わった試合を悔やんでも勝ち点が増える訳ではない。反省点はしっかりと押さえた上で気持ちをきちんと切り替え、これからの試合できちんと勝利を、しっかりと勝ち点3を積み上げていくことを目指さなくてはならない。

さて、真夏の3連戦・最後の対戦相手は、大分トリニータだ。2015年にJ3降格を経験したが、1年でJ2再昇格を決め、昨年は9位。今年はシーズン序盤から着実に勝ち点を積み上げ、第10節終了時に首位に立つと、その後も首位争いを続け、首位でシーズンを折り返した強いチームだ。しかし、直近5試合で1分4敗と大きく調子を落とし、現在は5位にまで後退している。逆説的に言えば、これ以上は負けられないと、死にものぐるいで戦ってくるチームになるだろう。

大分との通算対戦成績は、岐阜の1勝2分10敗・15得点33失点と、大きく負け越している。ホーム戦でも1勝5敗・5得点11失点、2010年の勝利以来、11戦未勝利と残念ながら相性が非常に悪い。前回の対戦5/13(日)アウェイ戦では、#11 古橋亨梧のゴールで先制するが、後半直後に追いつかれ、追加タイムのラストプレーで#27 三平和司にゴールを押し込まれ、非常に後味の悪い敗戦となった。今節こそ、ホームで大分に勝利を挙げ、アウェイの雪辱を晴らさなければならない。

大分の要注意選手には、それぞれ8得点を挙げている#9 後藤優介と#38 馬場賢治を挙げておきたい。しかし、この2選手は6試合ノーゴールで、その不調がチームの不振に繋がっているとも言えるだろう。一方、この6試合で3ゴールと独り気を吐いているのが#10 藤本憲明だ。また大分には、関市出身の#15 清本拓己(13~16年に岐阜に在籍、16年は大分に期限付き移籍し、17年から完全移籍)が在籍し、今シーズン後半の切り札として投入されている。前回対戦での#27 三平の決勝ゴールも、#15 清本がアシストした。しかし今節は、岐阜の守備陣にリベンジを果たしてもらいたい。一方の岐阜では、#14 風間宏矢(14~15年に大分に在籍、15年途中で岐阜に期限付き移籍し、16年から完全移籍)が活躍して、古巣相手にゴールを決める姿に期待したい。

ナイターとはいえ真夏の3連戦の3戦目、しかも今年の岐阜は全国有数の酷暑地域だ。選手たちの疲労もピークに達しているだろう。しかし、この厳しいコンディションでの試合をホームで迎えられることを優位に捉えたい。普段よりも身体が重く動きも鈍るだろう選手たちの背中を後押しして、最後の一步を踏み出させるような、最後まで勝利のために意識を集中させて走り続けさせるような、そんなホームスタジアムの雰囲気を作り出そう。僕らも最後まで勝利を信じて全力で、時には叱咤激励となるような、拍手と声援を送り続けよう。熱く激しい試合で勝利を掴み取れば、再びチームは上昇気流に乗るはずだ。(ささたく)



「いらっやいませ」より「おかえりなさい」が似合うアットホームな韓国料理店。『チヂミ屋』はJR岐阜・名鉄岐阜駅から徒歩3分。休:月曜日

投稿募集 !!

gidaidohri@gmail.com

【第25節】岐阜 2-3 讃岐

●突然の雷雨。この表現が愛くるしく思えるくらいの土砂降り。夕立レベルを予測して、メインへ避難していたんだけど荷物をビニル袋に片付けている間にカラダの前面濡れまくりでした。けっきょく、それ以上に濡れて体調に影響するのを恐れキックオフ後も、そのままメインから観戦した自分にとって、この日の試合はなかなかのエンタメに思いましたが、ヌルすぎですかね？

いい意味で「どうなることか？」と心配させられた前半からの豹変も、その後の追い上げもハラハラドキドキの連続。トドメというか、決勝ゴールを決めたのが和正というのが、自分的には嗜虐の極みでした。ウチをJに連れてきてくれたメンツの中で、J2に残ってるのは、和正の他だと深津くらい？「和正、元気でウチが勝つ！」のが一番よかったんですがね(苦笑)

しかし、和正の得点はウチのミスっちゃ、ミス。その見解には反論の余地もないが、それでもパスを出すでしょ？あの場面は。結果として最悪の、相手に渡すハメになったけど、キョーゴの追撃ゴールも似たようなパス回しからだった・・・というのは言い過ぎかしらん？ミスをしなくてアノ位置でもパスを繋ぐのが大木流。だからこそ、3人のワンタッチからのゴールは圧巻でした。シビれます。残念だったのは、それ以外のシュートが、ことごとく相手GKの手が届く範囲内だったことかな。キョーゴは、いつも通りのキレは見当たらなかったかもしれないが、切り返してのシュートが決まったら壊れてたかもしれない。それから、アベちゃん、この日もおかしかった。あんなドリブルできたっけ？本当にアベちゃんか？あの選手。そんなワケで、結果に納得も満足もしていないがそれなりに楽しめました。強いて言えば、2失点目かな？失点から数分も経たないうちに、同じように決められた。ソコは繰り返したらダメだ。ただ、ターンオーバーしてこなかったウチが、ようやくCBを替えた。北谷に使えるメドがついたということか。讃岐戦を高い授業料にしての成長に期待してます。

手痛い敗戦になってしまったけれど、この辺りからの下位クラブ、降格圏内のクラブがどれほど怖い。それは我々が一番よく知ってるハズ。愛媛、讃岐と連続してやられたのは悔しいけど、意地でも切り替えなきゃ。すぐに次の試合が来るんだから。しかし、久々のメインだったが、展開やゴール裏に合わせた拍手とかは実にいい感じ。一体感あったね。もっと、厚みが出て、それが全体に広がるといいなあ。まずは、今節・大分戦。讃岐戦以上に選手をあと押ししていきますましょ！
(ぐん)

●これまでに経験した讃岐戦とは違う展開に、違う結果。だからサッカーはむずかしい。讃岐といえば、ぼくを含む一部サポが『北野式塹壕』と呼ぶ、強固な守備構築からの一気のカウンター。だから、岐阜が相手守備を崩せないと讃岐が勝ち、崩せたら岐阜が勝つ。ぼくは岐阜 vs 讃岐といえばその2種類の展開しか知らなかった。そして、その定石が進むならこの日は岐阜が勝つはずの展開だったのだ。

序盤から綻びが目立つ讃岐の守備。塹壕というのは相手の攻撃隊が通過できないように掘った『堀』なのだが、この日の讃岐が準備していたのは『堀』ではなく『落とし穴』。50代を超えるおじさんお婆さんは「平安京エイリアン」というテレビゲームをご存知ではないだろうか？

そして、その綻びの部分に見える糸を丹念にほどいて綻びを大きくしようとするライオンのプレー。やっぱり、岐阜のセンターFWに彼がいるといないとは使える攻撃の引き出しがまるで違う。両サイドのキョーゴにユーヤ、そして中のユートとコーヤ。ライオンにボールが当たると彼らは面白いように飛び出して讃岐守備陣を抜いていく。本当に、後ろを向い

てプレーさせたら頼りになるプレイヤーだ。だからこそ、ライオンにもゴールを決めてもらいたかった。すると、そのライオンの前にスポッとスペースが生まれ、しっかりと右上隅に決めた。彼にキメ顔で「私、前を向いてもスゴいんです」と言われたみたいだった。かくして岐阜が先制。これまでの岐阜 vs 讃岐の展開に当てはめれば、ここから岐阜が負ける絵というのは簡単にはアタマの中に描けなかった。

ただ、不安要素はあった。前半の30分もしない時間帯に讃岐が右SBを交代させたこと。この交代でキョーゴがほぼ握っていたそのゾーンの制空権が失われたように見えたこと。そして、讃岐と同様に岐阜の守備も決してカタくはなかったこと。

その不安は後半になると的中してしまう。残留争いもただ中でどうしても勝ち点3が必要な讃岐は塹壕戦術ではなくフォアプレスを選択。岐阜の最終ラインに圧力をかけてボールを奪いにきた。これで得られた50分と52分のCK。2本目は「1本目のリプレーか？」と思うような弾道のボールがほぼ同じところに飛び、それが失点に結びついてしまう。こんなところでコピペ(コピー&ペースト)しなくても……。3失点目は岐阜が厚く攻めたところを奪われてのカウンター、見慣れた讃岐戦の失点。それでもこの日の讃岐はまだキチンとした塹壕が掘れず、右から縦に突破して折り返しをキョーゴが決めて1点差。こうなると讃岐は「多けりゃいいってモンだ！」とばかりにシステムを5-4-1にしてなりふり構わず守備を厚くしてきて、逃げ切られてしまった。

不甲斐ない試合、だったのだろうか？なのかなあ。でも、ぼくはそれほど感情が不安定にはならなかった。これまで、大木監督のやり方の中でぼくが疑問に思っていたことが「メンバーの固定化」。天皇杯でも(天皇杯を軽くみているわけでは決していないが)メンバーをほとんど入れ替えずに戦ってライオン負傷の一因ともなっていた。そんな中、夏の3連戦で竹田を休ませて北谷の初スタメン。しかし、セットプレーでは残念な結果になってしまった。1点目を視て「あそこが脆弱(せいじゃく)だ」と見切って同じところに同じボールを入れてきた讃岐も見事ではあるが、相手もセットしてくるプレーなのだから、こちらもセットした守備が必要になる。この『岐大通』に何度も書いたかもしれない、イングランド・ウィンブルドンFCのパートナー監督の言葉。「人間が失敗したときにすべきことは3つある。『それを認め』『そこから学び』『2度と繰り返さない』」。北谷にはこの代償を糧に大きく飛躍して欲しい。

岐阜(対戦時点で12位)が讃岐(21位)に負けた日に、今日対戦する大分(4位)は愛媛(19位)に負けた。順位はあくまでこれまでの結果を反映したものに過ぎず、対戦結果をなんら保証するものではない。これまでのぼくらが、そうだったじゃない。ずぶずぶの残留争いをしてきたシーズンに、上位に勝ってなんとか生き残って、それでここまでJ2で戦ってこれた。でも、そういう「残留争いに必死なチーム」との試合で、順位に相応しい結果を残すこと。昇格する、プレーオフ圏内にいる、上位に定着出来ているチームは、そういうことが出来ている。概ね、ではあるが。

(吉田鑄造)